



Your dreams. Woven together.

Your dreams. Woven together.

# 2015年6月期 第2四半期決算説明

---

2015年2月13日

(証券コード:7747 東証二部、名証二部)



# 目次

1. 2015年6月期(上期) 連結決算の概要

2. 2015年6月期(通期) 連結業績見通し



## 2015年6月期(上期)決算のポイント-1

売上高は16,958百万円 <前年同期比 +28.8%>  
 ~メディカル事業・デバイス事業共に好調に推移~

### ■ メディカル事業

~全地域の需要が堅調であることに加えて、米欧通貨高の後押しにより、大幅増加~

国内

- CCT学会以降、国内売上高が加速化
- PTCAガイドワイヤーは「SIONシリーズ」を中心に数量続伸
- PTCAガイディングカテーテル「Hyperion」、PTCAバルーンカテーテル「Kamui」の市場シェア拡大
- 償還価格の下落 (△492百万円)

海外

- PTCAガイドワイヤーは特に欧州中近東地域において需要の伸びが強く増加傾向
- 貫通カテーテル「Corsair」が米国・欧州中近東・中国にて好調に推移

### ■ デバイス事業

~トヨフレックスグループの連結子会社化の効果も含めて産業部材が増加~

- ✓ 医療部材は国内海外共に増加
- ✓ 産業部材はトヨフレックスグループの子会社化の効果も含めて自動車市場や建築市場が好調に推移

為替	(単位:円)	
2014/06	US\$ 100.09	BAHT 3.15
2Q累計	EURO 132.57	中国元 16.41
2015/06	US\$ 110.69	BAHT 3.42
2Q累計	EURO 140.61	中国元 17.95



## 2015年6月期(上期)決算のポイント-2

営業利益は研究開発や営業費用が増加するも、  
売上好調に伴い大幅増益

- 売上総利益は10,661百万円 <前年同期比 **+24.7%**>
- 営業利益は4,147百万円 <前年同期比 **+32.2%**>
  - 研究開発費(1,500百万円)の増加 (前年同期比 +295百万円、売上高比率 8.8%)
  - 営業関係費用の増加など
- 経常利益は4,543百万円 <前年同期比 **+39.1%**>
  - 為替差益の増加(+231百万円)
- 当期純利益は3,073百万円 <前年同期比 **+24.4%**>
  - 前期計上のトヨフレックスグループの連結子会社化に伴う負ののれん発生益の減少(△319百万円)

為替	(単位:円)	
2014/06	US\$ 100.09	BAHT 3.15
2Q累計	EURO 132.57	中国元 16.41
2015/06	US\$ 110.69	BAHT 3.42
2Q累計	EURO 140.61	中国元 17.95



# 決算ハイライト

	2014年6月期 2Q累計実績		2015年6月期 2Q累計実績						
	金額 (百万円)	構成比 (%)	期初計画 2014/8/12	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比		期初計画比	
						増減額 (百万円)	増減率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	13,170	100.0	15,655	16,958	100.0	+3,787	+28.8	+1,303	+8.3
売上総利益	8,551	64.9	10,048	10,661	62.9	+2,109	+24.7	+613	+6.1
営業利益	3,136	23.8	3,295	4,147	24.5	+1,011	+32.2	+851	+25.8
経常利益	3,266	24.8	3,282	4,543	26.8	+1,276	+39.1	+1,261	+38.4
当期純利益	2,470	18.8	2,155	3,073	18.1	+603	+24.4	+918	+42.6
EPS *	77.51円	-	67.25円	95.88円	-	+18.37	+23.7	+28.63円	+42.6

\*:EPSにつきましては、2014年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しているため、前期首に当該株式分割が行われたものと仮定し、株式分割後の数値を記載しております。



## セグメント別売上高

	2014年6月期 2Q累計実績		2015年6月期 2Q累計実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル事業	10,601	80.5	13,161	77.6	+2,559	+24.1
デバイス事業	2,568	19.5	3,796	22.4	+1,228	+47.8
合計	13,170	100.0	16,958	100.0	+3,787	+28.8

(参考)

医療機器分野	11,722	89.0	14,358	84.7	+2,635	+22.5
産業機器分野	1,447	11.0	2,600	15.3	+1,152	+79.6

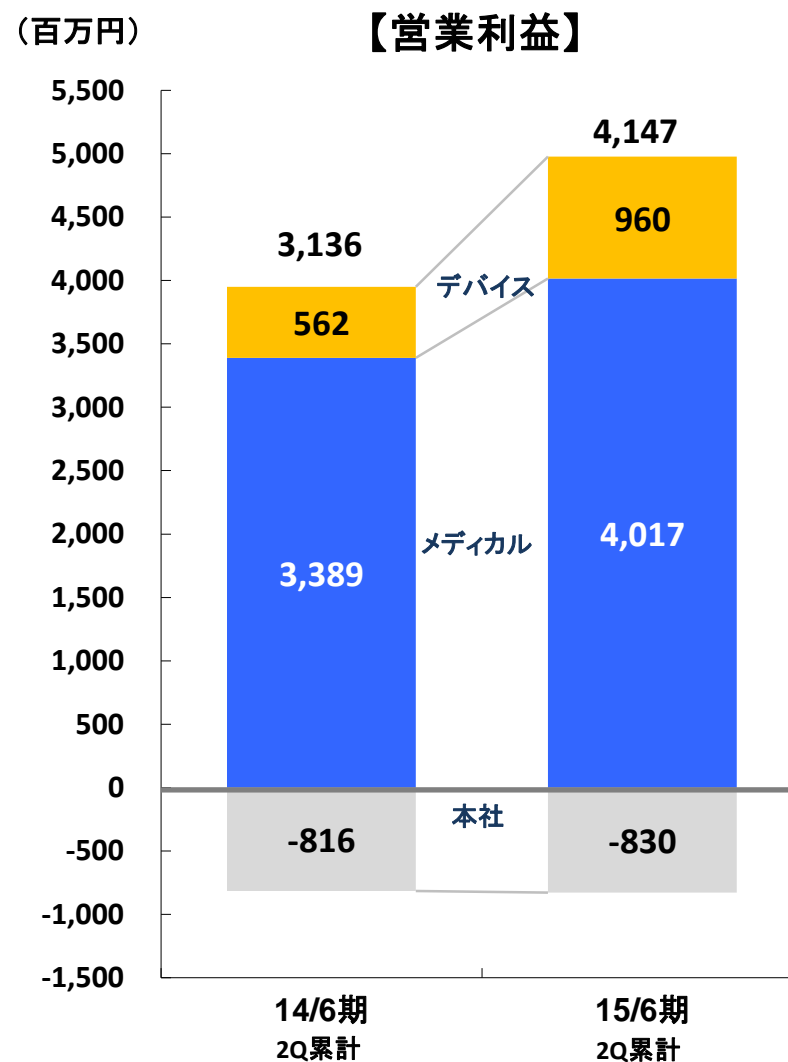
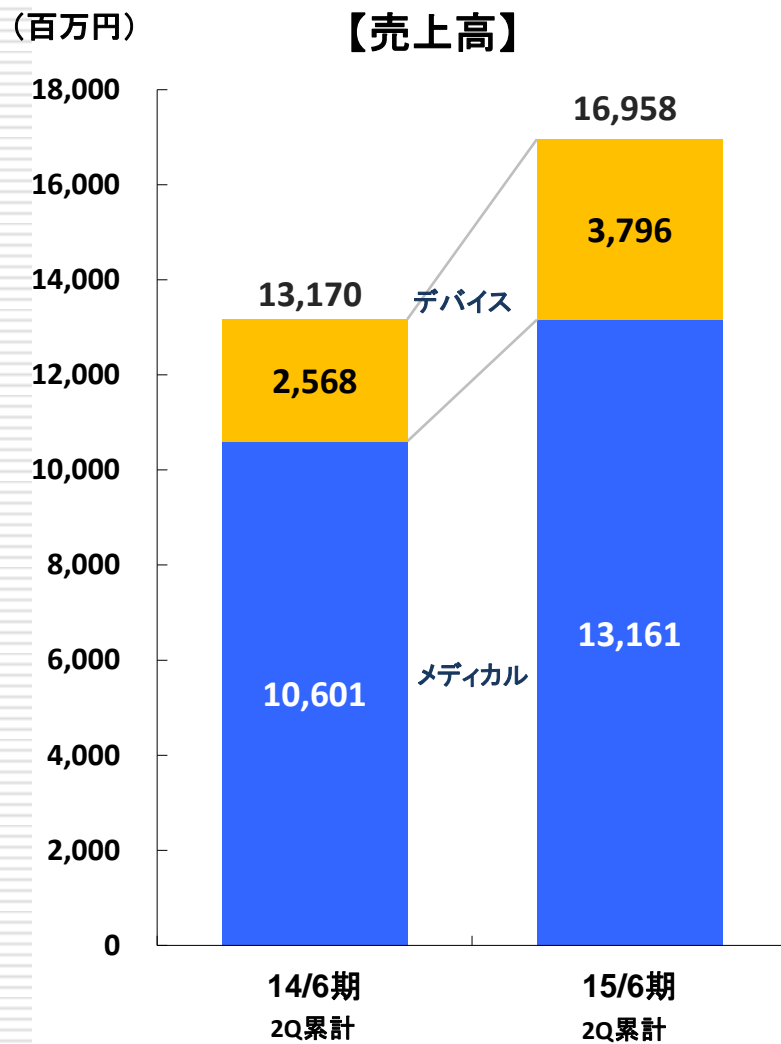


## セグメント別営業利益

	2014年6月期 2Q累計実績		2015年6月期 2Q累計実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル事業	3,389	85.8	4,017	80.7	+627	18.5
デバイス事業	562	14.2	960	19.3	+397	70.7
計	3,952	100.0	4,977	100.0	+1,025	25.9
消去・全社	△816	-	△830	-	△14	1.7
合計	3,136	-	4,147	-	+1,011	32.2



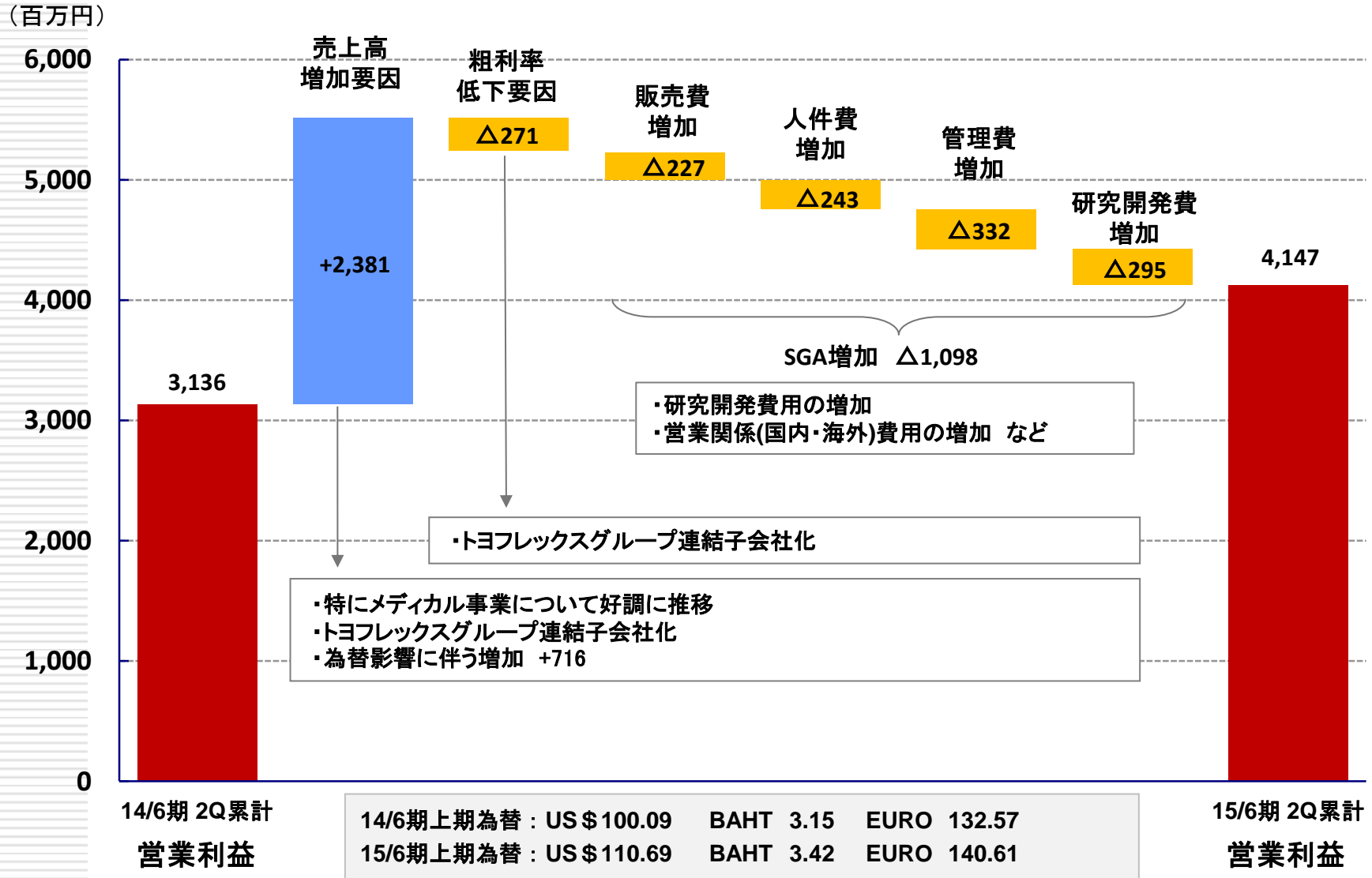
## セグメント別の収益状況







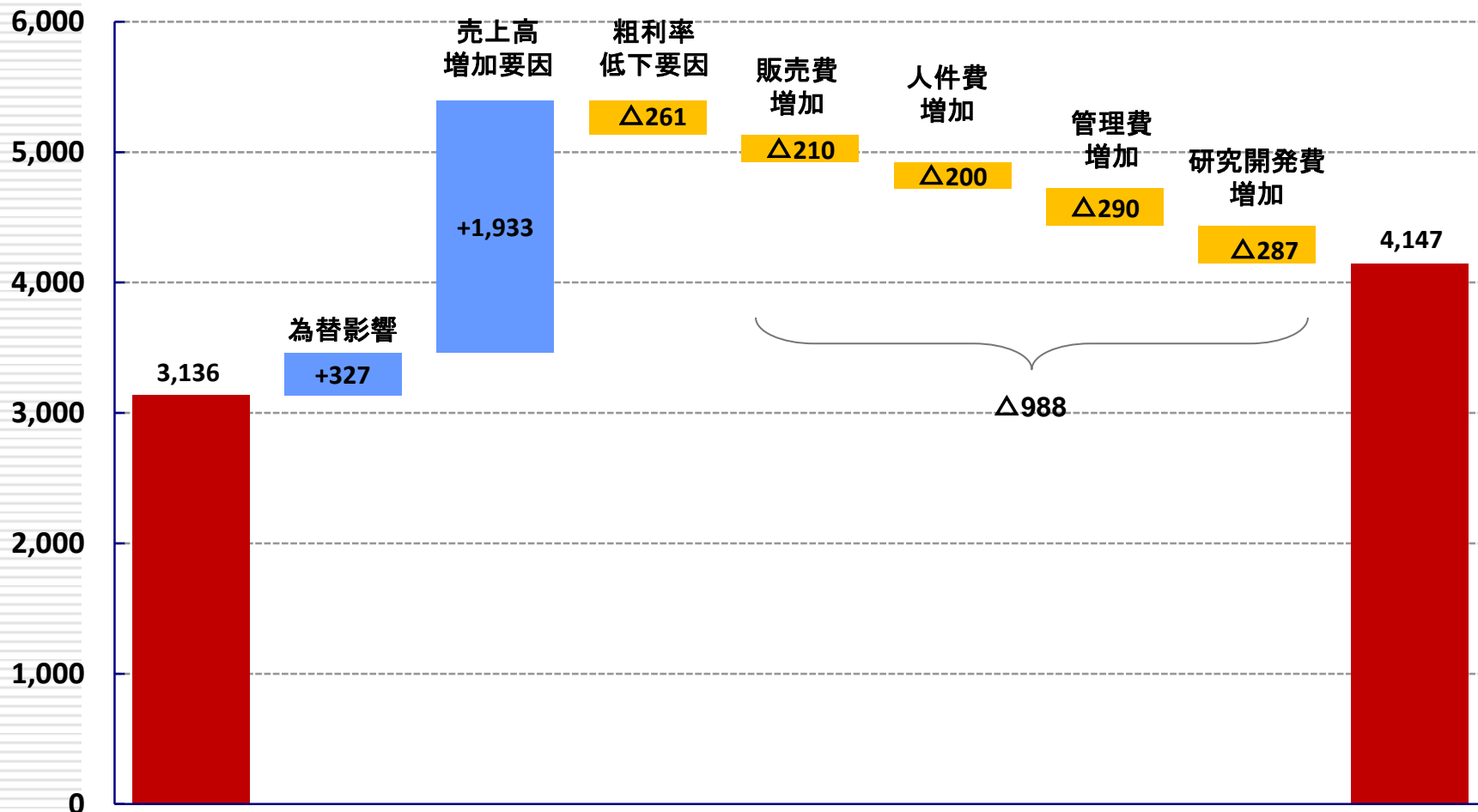
# 営業利益増減要因分析-1 (為替の影響を含む)





# 営業利益増減要因分析-2(為替の影響を除く)

(百万円)



14/6期 2Q累計  
営業利益

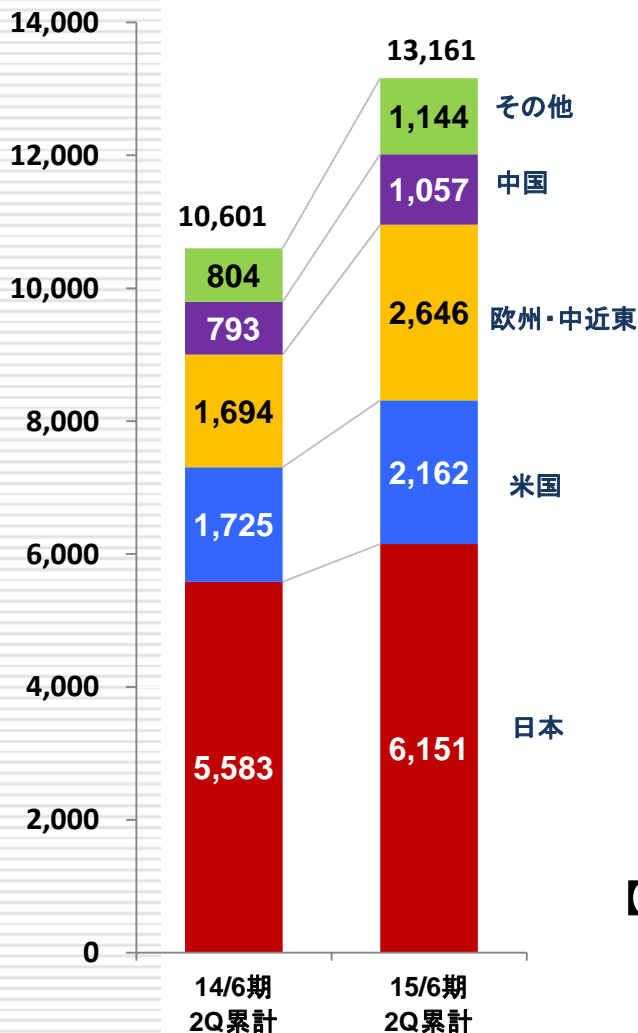
14/6期上期為替 : US \$ 100.09	BAHT 3.15	EURO 132.57
15/6期上期為替 : US \$ 110.69	BAHT 3.42	EURO 140.61

15/6期 2Q累計  
営業利益



# メディカル事業の状況(地域別-1)

(百万円)



## 【売上高(前年同期比)】

■ **日本**： 償還価格下落による影響(△492百万円)あるも  
循環器系及び非循環器系分野共に好調に推移

- PTCAガイドワイヤー：「SIONシリーズ」を中心として数量増加
- PTCAバルーンカテーテル：新製品「Kamui」による市場シェア拡大
- PTCAガイドワイヤカテーテル：新製品「Hyperion」による市場シェア拡大
- 貫通カテーテル：新製品「Caravel」の垂直立ち上げによる拡大
- 腹部血管系製品/脳血管系製品：販売好調により増加傾向

■ **海外**：全地域において需要好調、米欧通貨高により更に後押し

- <米国> PTCAガイドワイヤー：契約を上回る出荷  
貫通カテーテル「Corsair」：直接販売好調により増加傾向
- <欧州・中近東> PTCAガイドワイヤー / 需要の伸びが強く引き続き好調に推移  
貫通カテーテル「Corsair」：需要好調
- <中国> PTCAガイドワイヤー：市場成長率を上回り好調に推移  
貫通カテーテル「Corsair」：需要増加により好調に推移
- <その他> PTCAガイドワイヤーを中心に好調

## 【営業利益】

■ 研究開発費用及び営業関係費用の投下あるものの  
売上高好調につき増益



## メディカル事業の状況(地域別-2)

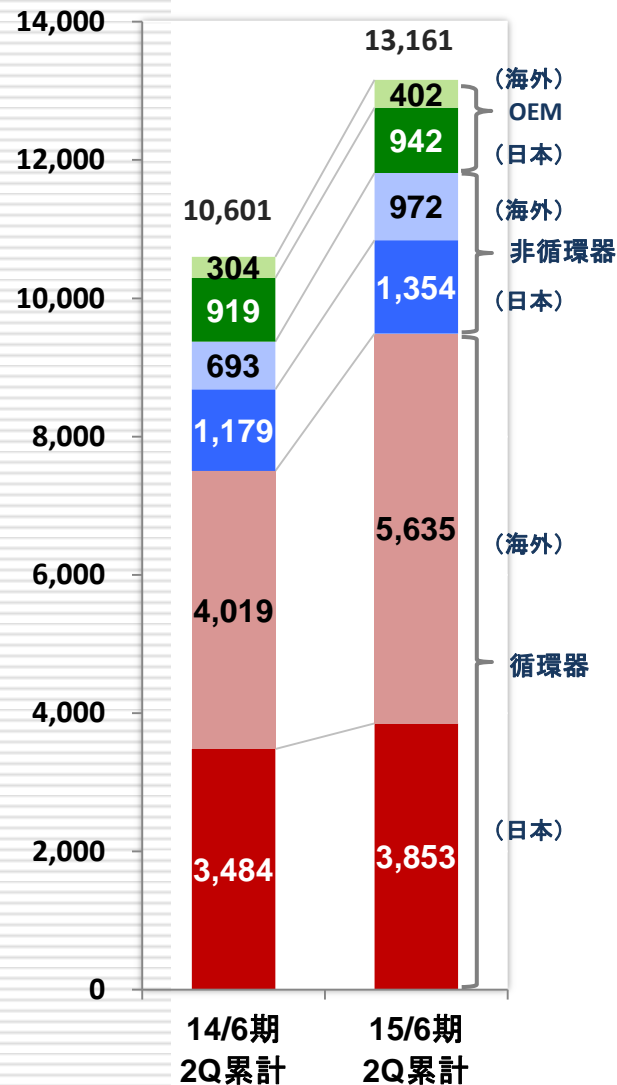
(単位:百万円)

	2014/6 2Q累計	2015/6 2Q累計	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
(為替レート: ドル)	100.09	110.69	+10.60	+10.6
売上高合計	10,601	13,161	+2,559	+24.1
日本	5,583	6,151	+567	+10.2
海外	5,018	7,010	+1,992	+39.7
米国	1,725	2,162	+437	+25.3
欧州・中近東	1,694	2,646	+951	+56.1
中国	793	1,057	+263	+33.1
その他	804	1,144	+340	+42.4
営業利益	3,389	4,017	+628	+18.5



# メディカル事業の状況(患部領域別-1)

(百万円)



## 【売上高(前年同期比)】

### 循環器

- 日本: 既存製品の成長に加え、新製品も好調に推移
  - PTCAガイドワイヤー / 「SIONシリーズ」を中心として好調に推移
  - PTCAバルーンカテーテル / 新製品「Kamui」が市場シェア拡大
  - PTCAガイドイングカテーテル / 新製品「Hyperion」が市場シェア拡大
- 海外: 全地域において、PTCAガイドワイヤーを中心として好調に推移
  - <米国> PTCAガイドワイヤー / 契約を上回る出荷
  - <米国、欧州・中近東、中国> 貫通カテーテル「Corsair」 / 販売好調により増加傾向

### 非循環器

- 国内: 腹部血管系・脳血管系製品: 販売好調により増加傾向  
ペリフェラルガイドワイヤーが直接販売切替による一時的な減少含み横ばい
- 海外: アジア(中国含む) 腹部血管系製品が好調に推移

### OEM

- 国内: 内視鏡スネアなど増加
- 海外: 循環器系検査用ミニガイドワイヤーの増加



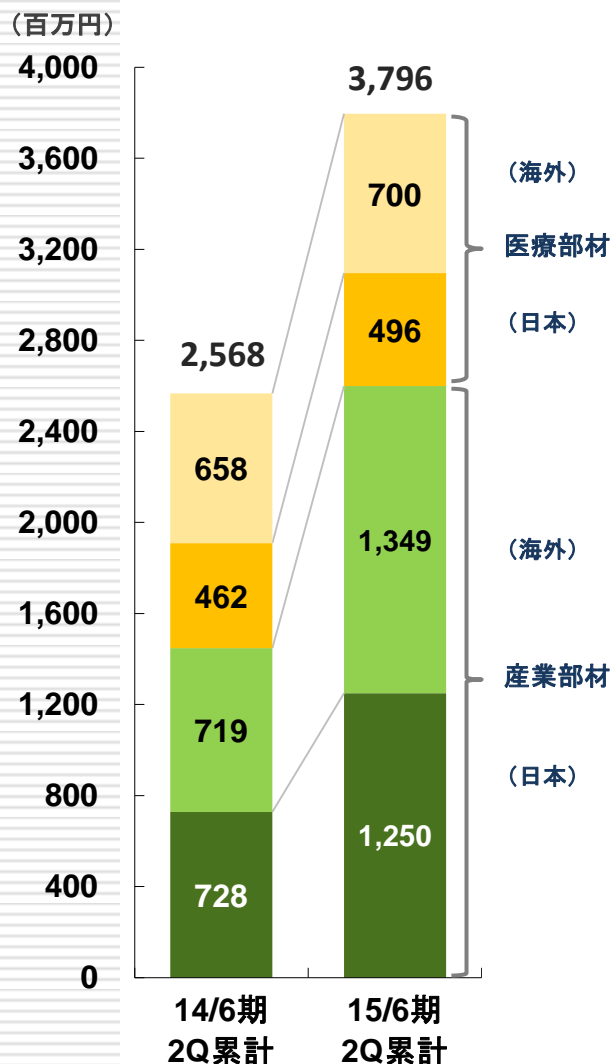
## メディカル事業の状況(患部領域別-2)

(単位:百万円)

	2014/6 2Q累計	2015/6 2Q累計	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
(為替レート: ドル)	100.09	110.69	+10.60	+10.6
売上高合計	10,601	13,161	+2,559	+24.1
日本	5,583	6,151	+567	+10.2
海外	5,018	7,010	+1,992	+39.7
循環器	7,504	9,489	+1,984	+26.4
日本	3,484	3,853	+369	+10.6
海外	4,019	5,635	+1,615	+40.2
非循環器	1,873	2,327	+454	+24.2
日本	1,179	1,354	+174	+14.8
海外	693	972	+279	+40.2
OEM	1,223	1,344	+120	+9.9
日本	919	942	+23	+2.5
海外	304	402	+97	+32.1



# デバイス事業の状況-1



## 【売上高 (前年同期比)】

医療部材は国内海外共に増加

産業部材はトヨフレックスグループの連結子会社化効果も含め増加  
(前期2Qから連結子会社化のため、1Q分が増加)

### 医療部材

- 国内: 内視鏡関連部材の増加
- 海外: 末梢血管系医療部材や循環器系医療部材が北米にて増加

### 産業部材

- 国内: 建築市場・自動車市場向けの増加  
トヨフレックスグループの連結子会社化に伴う増加
- 海外: 自動車市場向・建築市場向けの増加  
トヨフレックスグループの連結子会社化に伴う増加

## 【営業利益】

- トヨフレックスグループの連結子会社化に伴う利益増加は僅少
- 外部売上高及びセグメント間取引の売上高の増加により増益



## デバイス事業の状況-2

(単位:百万円)

	2014/6 2Q累計	2015/6 2Q累計	前年同期比		
			増減額	内 トヨフレックス社1Q分	増減率(%)
(為替レート: ドル)	100.09	110.69	+10.60	-	+10.6
売上高合計	2,568	3,796	+1,228	+959	+47.8
日本	1,190	1,747	+556	+527	+46.8
海外	1,377	2,049	+671	+432	+48.7
医療部材	1,120	1,196	+75	-	+6.8
日本	462	496	+34	-	+7.4
海外	658	700	+41	-	+6.3
産業部材	1,447	2,600	+1,152	+959	+79.6
日本	728	1,250	+522	+527	+71.7
海外	719	1,349	+629	+432	+87.6
営業利益	562	960	+397	-	+70.7





## ご参考：損益の状況

	2014年6月期 2Q累計実績		2015年6月期 2Q累計実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	13,170	100.0	16,958	100.0	+3,787	・メディカル事業が全地域において好調に推移 ・トヨフレックス社の連結子会社化
売上原価	4,618	35.1	6,296	37.1	+1,678	
売上総利益	8,551	64.9	10,661	62.9	+2,109	・好調な売上高に比例して増加 ・トヨフレックス社の連結子会社化などに伴い 売上総利益率は低下
販管費	5,415	41.1	6,514	38.4	+1,098	・研究開発費及び営業関連費用の増加
営業利益	3,136	23.8	4,147	24.5	+1,011	
営業外収益	194	1.5	423	2.5	+229	・為替差益の増加
営業外費用	63	0.5	27	0.2	△36	
経常利益	3,266	24.8	4,543	26.8	+1,276	
特別利益	319	2.4	-	0.0	△319	・トヨフレックス社の連結子会社化に伴う 負ののれん発生益の減少 △319百万円
特別損失	0	0.0	-	0.0	0	
四半期純利益	2,470	18.8	3,073	18.1	+603	
包括利益	2,843	21.6	5,204	30.7	+2,360	・為替換算調整勘定の増加+1,959百万円

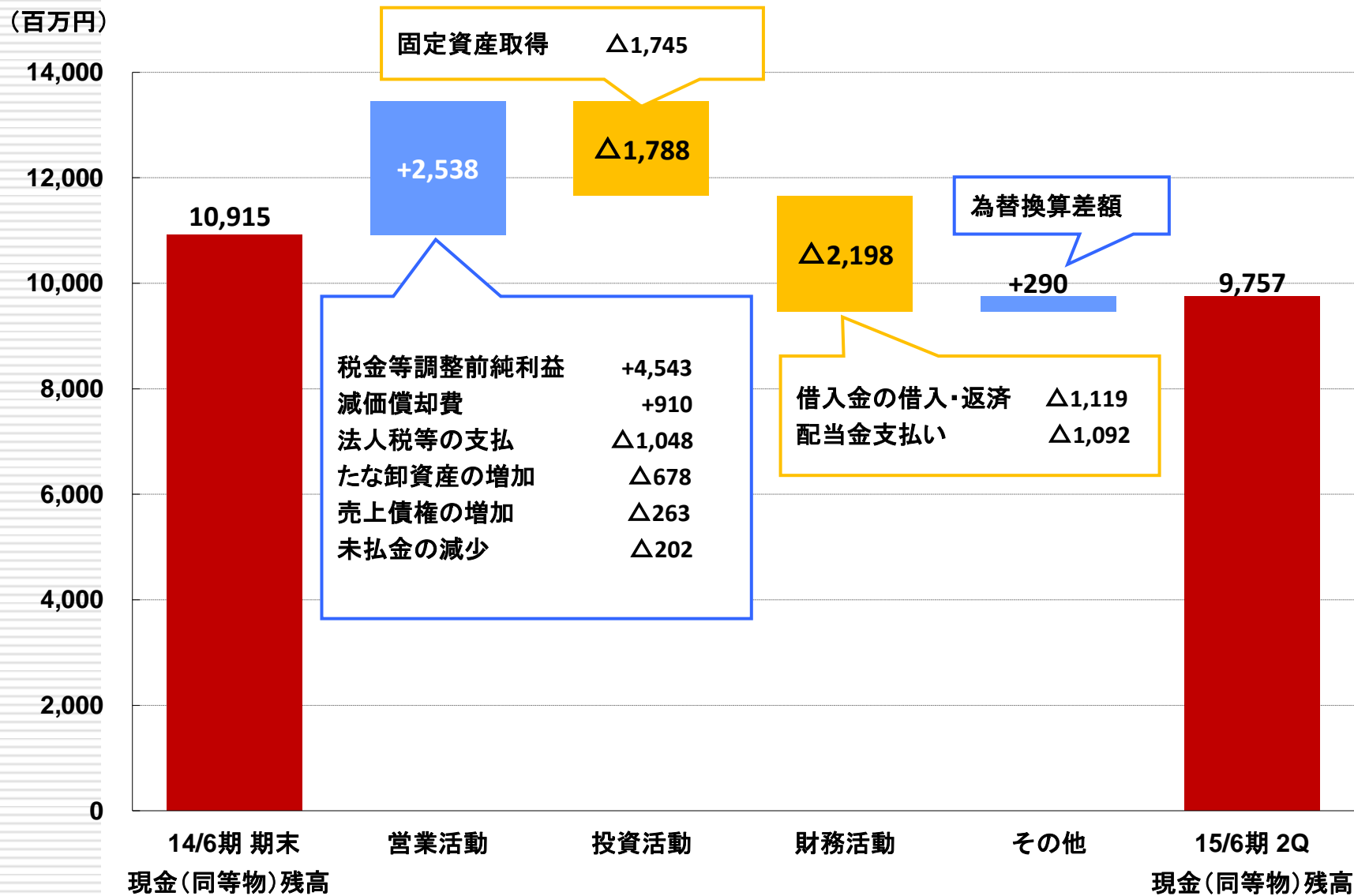


## ご参考：財務の状況

		2014年6月期 実績		2015年6月期 2Q実績			
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
資産	流動資産	26,408	61.5	27,644	59.7	+1,235	現金及び預金 $\Delta 598$ 売上債権 +790 有価証券(譲渡性預金) $\Delta 600$ 棚卸資産 +1,406
	固定資産	16,558	38.5	18,666	40.3	+2,107	有形固定資産の増加 +1,600 投資その他の資産 +419
資産合計		42,967	100.0	46,310	100.0	+3,343	
負債	流動負債	9,482	22.1	9,280	20.0	$\Delta 202$	短期借入金 $\Delta 205$
	固定負債	7,747	18.0	7,176	15.5	$\Delta 571$	長期借入金 $\Delta 913$ 長期繰延税金負債 +304
負債合計		17,230	40.1	16,457	35.5	$\Delta 773$	
純資産合計		25,736	59.9	29,853	64.5	+4,117	利益剰余金 +1,966 為替換算調整勘定 +1,959
負債・純資産合計		42,967	100.0	46,310	100.0	+3,343	



## ご参考：キャッシュ・フローの状況





## 目次

1. 2015年6月期(上期) 連結決算の概要

2. 2015年6月期(通期) 連結業績見通し



## 2015年6月期決算の見通し

当初の想定以上に売上高が増加するため、  
販売費及び一般管理費や特別損失などの費用項目の増加を吸収し利益増加見込

### <業績予想の修正反映項目>

#### ■ 好調な売上高の反映

- 主力のメディカル事業において、国内・海外市場共に想定以上に当社製品の需要が高まったことに加え、米通貨高なども後押し

#### ■ 販売費及び一般管理費の増加

- 第2四半期累計期間の未発生取引を第3四半期会計期間以降に発生
- 好調な売上高に準じて、研究開発や営業に関する諸費用を先行投資
- 為替影響に伴う費用増加

#### ■ 特別損失の計上

- 非連結子会社の売却(香港孫会社、中国曾孫会社)



## 2015年6月期業績見通し

	2014年6月期(実績)		2015年6月期(計画)						
	金額 (百万円)	構成比 (%)	期初計画 2014/8/12	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比		期初計画比	
						増減額 (百万円)	増減率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	28,145	100.0	32,101	34,930	100.0	+6,785	+24.1	+2,828	+8.8
売上総利益	17,919	63.7	20,718	21,970	63.8	+4,051	+22.6	+1,252	+6.0
営業利益	5,995	21.3	6,908	7,500	21.5	+1,504	+25.1	+591	+8.6
経常利益	6,099	21.7	6,890	7,900	22.6	+1,800	+29.5	+1,009	+14.6
当期純利益	4,360	15.5	4,406	5,223	15.0	+863	+19.8	+816	+18.5
EPS *	136.50円	-	137.49円	162.93円	-	+26.43円	+19.4	+25.44円	+18.5

\*: EPSにつきましては、2014年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しているため、前期首に当該株式分割が行われたものと仮定し、株式分割後の数値を記載しております。

旧予算通期為替 : US\$ 100.00 BAHT 3.16 EURO 140.00  
 新予算通期為替 : US\$ 112.85 BAHT 3.53 EURO 135.31  
 (新予算下期為替 : US\$ 115.00 BAHT 3.65 EURO 130.00)

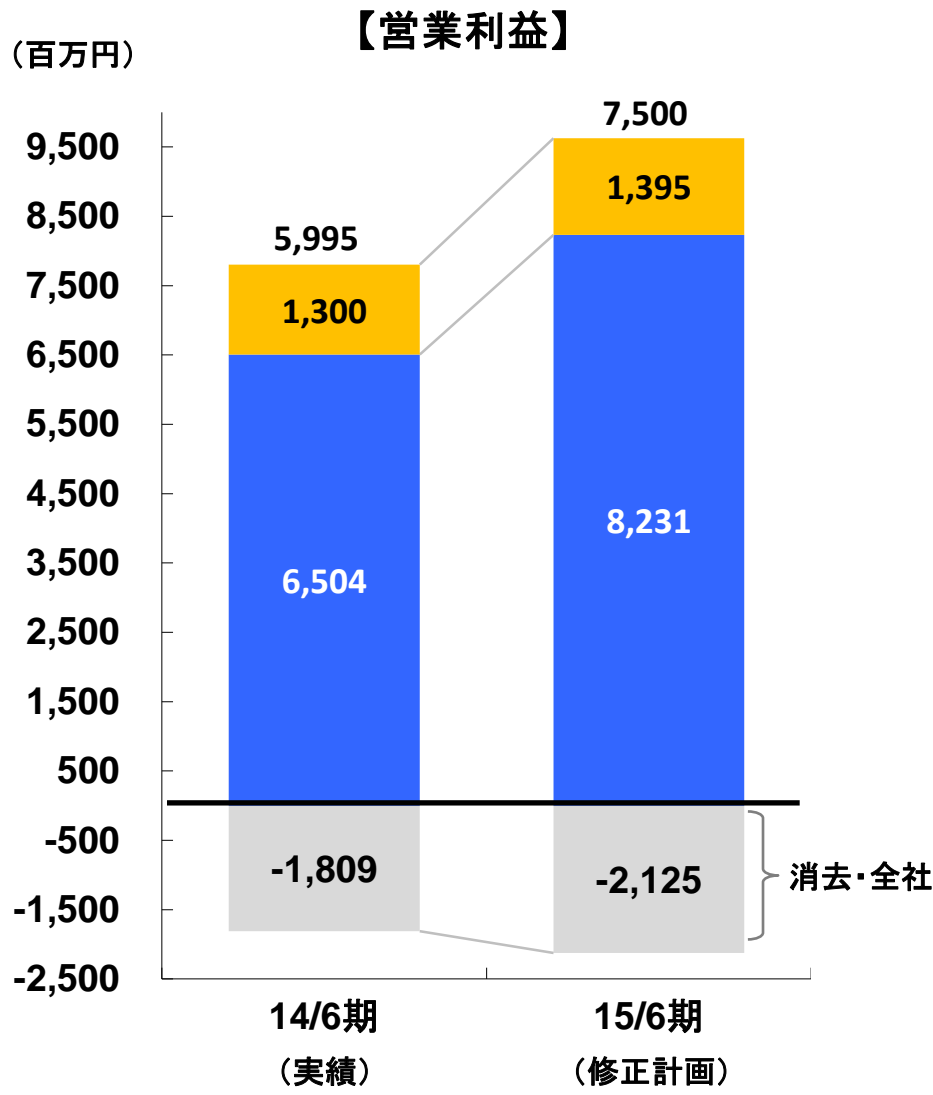
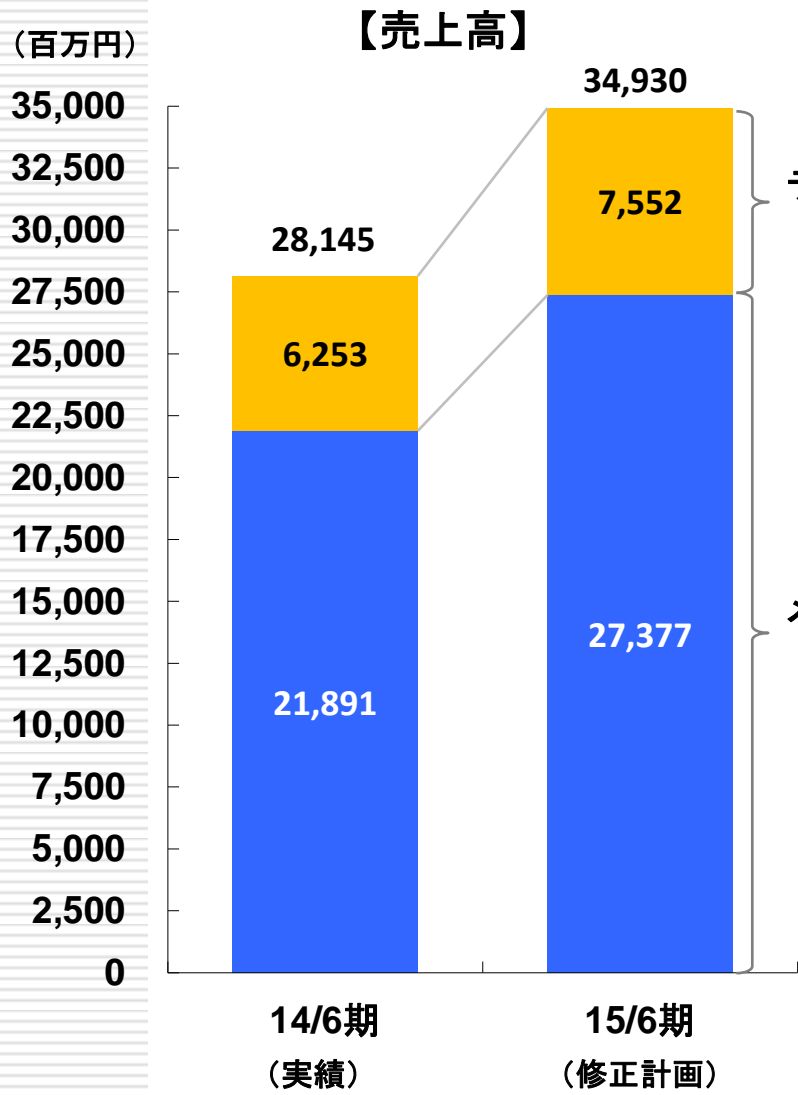
### 為替変動による営業利益の影響-概算(主な通貨のみ)

US\$ (+1円の影響) : 約71百万円増加 (上半期実現分除く +43)  
 BAHT(+0.1円の影響) : 約140百万円減少  
 EURO(+1円の影響) : 約30百万円増加(上半期実現分除く +16)



# セグメント別の収益見通し

# 前期比較



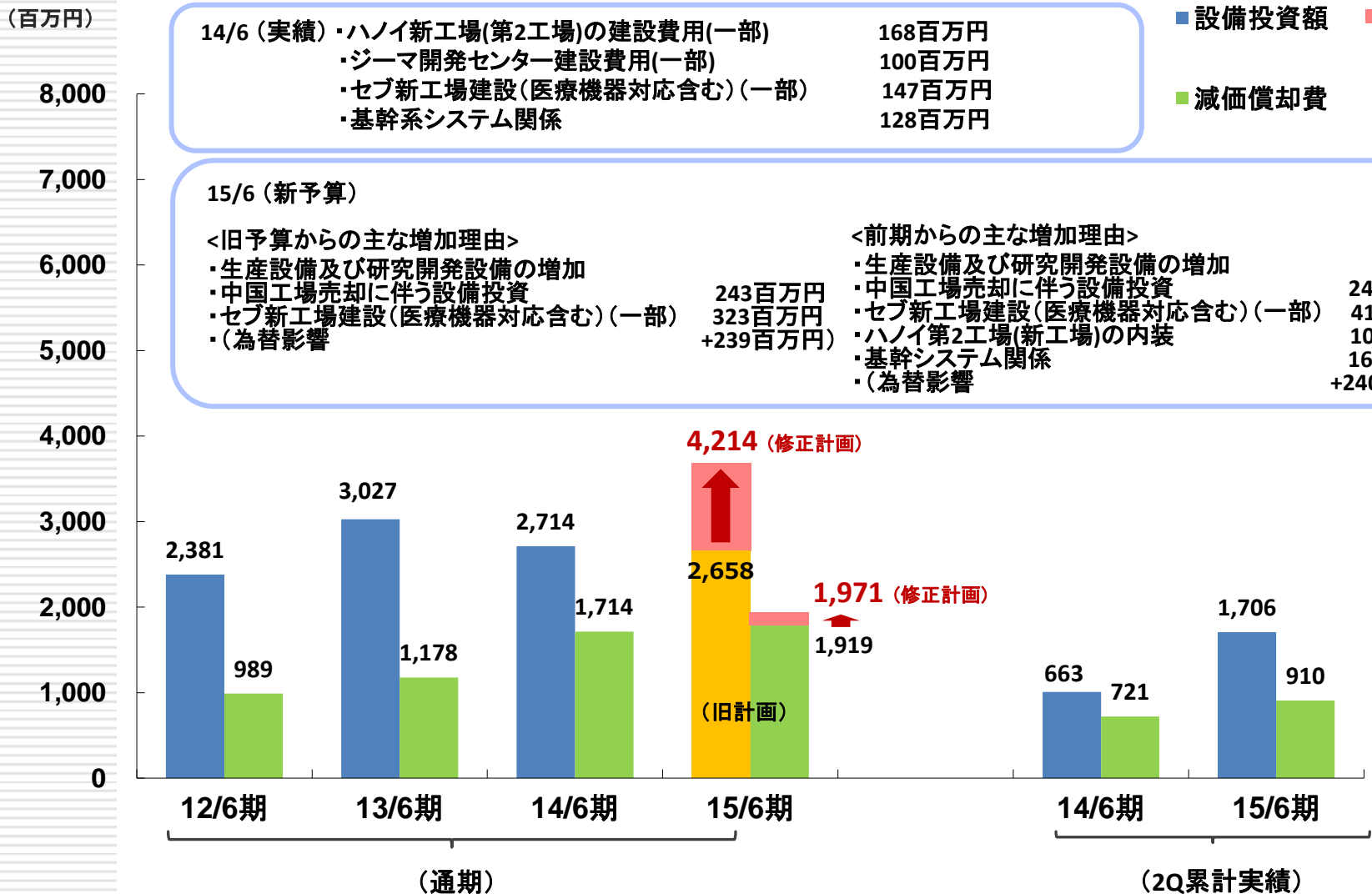


# 設備投資の実績及び計画

13/6 (実績)	・ハノイ新工場の建設費用(一部)	684百万円
	・(連結子会社)ジーマ社新研究開発建設	716百万円

14/6 (実績)	・ハノイ新工場(第2工場)の建設費用(一部)	168百万円
	・ジーマ開発センター建設費用(一部)	100百万円
	・セブ新工場建設(医療機器対応含む)(一部)	147百万円
	・基幹系システム関係	128百万円

15/6 (新予算)		
<旧予算からの主な増加理由>		<前期からの主な増加理由>
・生産設備及び研究開発設備の増加		・生産設備及び研究開発設備の増加
・中国工場売却に伴う設備投資	243百万円	・中国工場売却に伴う設備投資
・セブ新工場建設(医療機器対応含む)(一部)	323百万円	・セブ新工場建設(医療機器対応含む)(一部)
・(為替影響)	+239百万円	・ハノイ第2工場(新工場)の内装
		・基幹システム関係
		・(為替影響)
		+240百万円



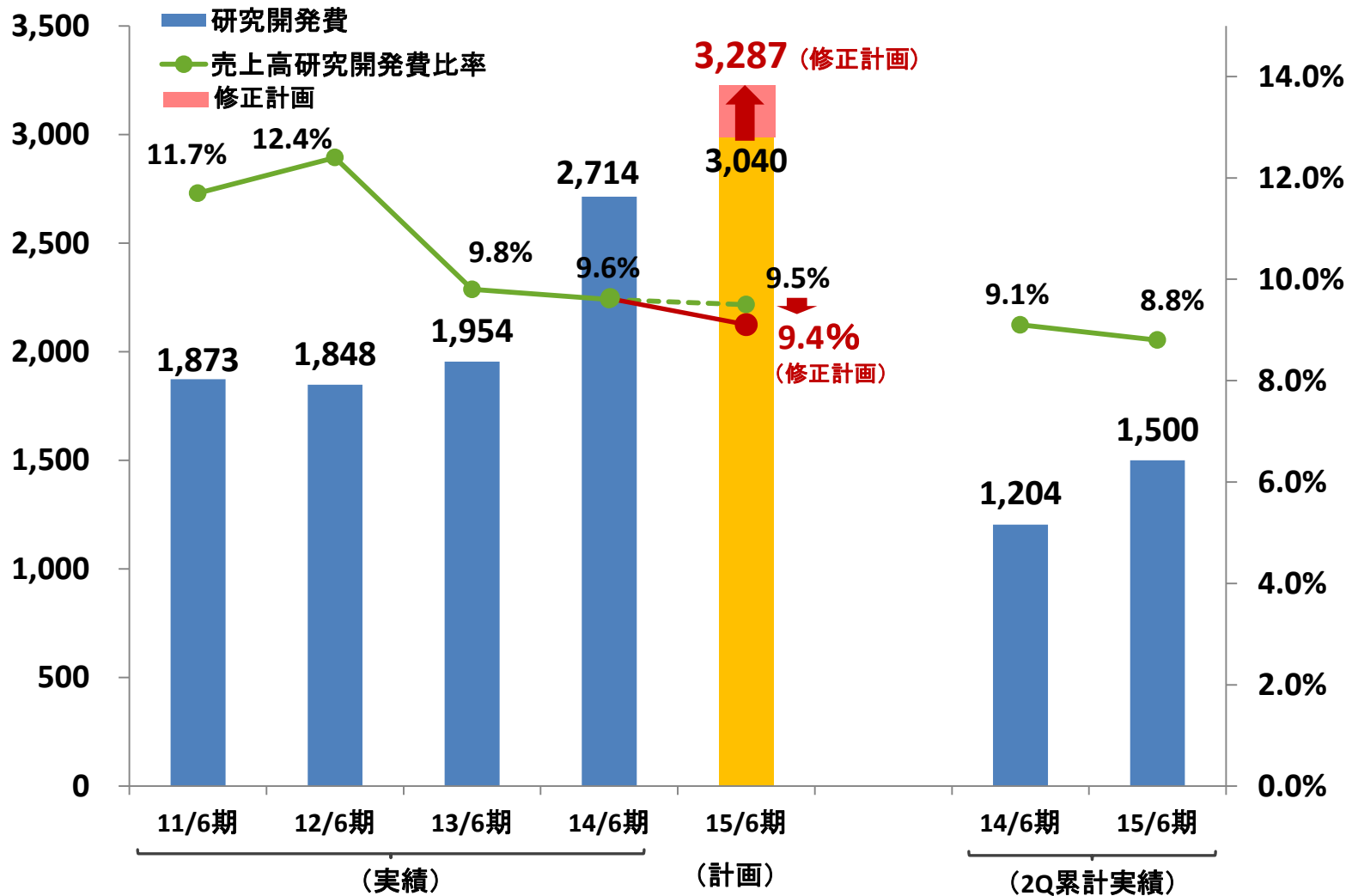




## 研究開発費の推移

研究開発費  
(百万円)

売上高研究開発費比率  
(%)





## 本資料における注記事項

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。  
実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

### 【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

朝日インテック株式会社 経営戦略室

TEL 052-768-1218 (Direct)

URL <http://www.asahi-intecc.co.jp/>